

## 第4回 あげお未来創造市民会議 会議録

1. 日 時 令和元年8月9日(金) 9時30分～11時30分

2. 場 所 青少年センター会議室

3. 出席者 委員：飯塚 純 ・市倉育江 ・大木晴夫 ・大澤サユリ ・岡部千里  
小川和男 ・小川早枝子 ・桐原陽子 ・小島 勝 ・小牟田健治  
関本正弘 ・高橋雅之 ・竹村絵里 ・中澤正俊 ・能登 貢  
萩原和也 ・本城文夫 ・増田澄雄 ・的場保子 ・宮田敬生  
矢島通夫 ・山尾三枝子 ・山口 直  
(欠席委員 伊原広茂 ・大塚常司 ・河原塚透 ・木村功一 ・鈴木靖代  
刀根正克 ・野田紘良 )

事務局：行政経営課野崎課長・本郷副主幹・東海林主任・三浦主任

加エトチム：永澤副主幹・松本主査 ・鈴木(彰)主任・大橋主任・鈴木(陽)主任  
吉岡主任・林主任・田中主任・細井主任・石川主任・野間主任

コンサルタント：株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

## 4. 次 第

〈第4回あげお未来創造市民会議〉

- 1 開会
- 2 グループ討議  
・基本理念・将来都市像の検討
- 3 その他
- 4 閉会

## 5. 配付資料 次第

あげお未来創造市民会議委員名簿

あげお未来創造市民会議～第4回資料～

将来都市像・基本理念の検討

## 6. 議事概要

〈第4回あげお未来創造市民会議〉

### 1 開会

委員長：皆さま、おはようございます。本日は、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。これより、第4回あげお未来創造市民会議を始めさせていただきます。はじめに事務局から配付資料の確認をさせていただきます。

《事務局から配付資料の確認》

## 2 グループ討議

委員長：それでは、次第に沿って進めてまいります。次第の2「グループ討議」についてですが、今回はシナリオプランニングという手法を用いて、「上尾市の望ましい姿」を実現するための具体的な取り組みについて議論したところです。今回は、将来都市像と基本理念について議論していただく予定です。

《コンサルタントが「あげお未来創造市民会議～第4回資料～」に基づき、前回の議論のあらましや本日の協議テーマ、協議の方法などについて説明》

《4グループに分かれ、将来の望ましい上尾の姿について議論し、発表した》

委員：Dグループは、子育て・教育が専門領域であることを踏まえ、将来都市像を検討するに当たり、「子育てしやすいまち」とはどのようなまちなのかを改めて考えました。この結果、赤ちゃん、子どもから子育てに取り組む大人まで誰もが生きやすい地域づくりが求められるとの認識の下、「雇用の促進」「住みたくなるまち」「その後住み続けたくなるまち」といったキーワードが出ました。さらにその後、協議を深め、最終的に「あそびがいっぱい 笑顔あふれる街 上尾」とのキャッチフレーズをまとめました。子どもに対しても大人に対しても政策が充実し、上尾が笑顔で暮らせるまちになればよいとの思いを込めています。また、特に「あそび」が重要なフレーズと考えています。また、基本理念については、5案をまとめました。「個性を伸ばす教育」は前回会議でも意見がありましたが、タブレット等ICTを活用した教育やeラーニング、ALT教育や「寺子屋」「おやじの会」など、上尾市ですでに進められている取り組みのさらなる充実を念頭に置いたものです。「スポーツ、文化の充実、市民活動の発展」については、市民が元気になることが、行政の目的として大変意義があるのではないかと考えて提案しました。「公助と共助のバランスが良く、人とまちがつながる」に関しては、市の政策と市民による自主的なアクションの両輪がそろってこそ、バランスが取れ、将来的な魅力につながるのではないかと意識が背景にあります。このほか「多文化共生」については、外国の方が非常に多い中で、共生を模索する姿勢が将来的に求められると考えました。最後に「自立して挑戦できる」については、協議全体を通じて最も多くの意見が出されました。昔は、なんでも行政主体でやってもらうのが当たり前でしたが、将来的には、行政だけに頼るのではなく、自ら考えて行動できる主体性を持った市民が増えることが望ましいと考えます。

コンサルタント：ありがとうございました。Dグループ将来像には「あそび」という言葉が入っています。人の心の余裕も含めて、広い意味での「あそび」と捉えられますが、この言葉が盛り込まれた将来像はこれまであまりなかったように感じます。大変特徴的であり、グループの思いも込められた、よいキャッチフレーズではないでし

ようか。

委員：Cグループでは、将来都市像の要素としてこれまでに挙げられていた要素に加え、「協働」「自然環境」「市民活動」「多様性を受け入れる」「横串」の5項目を含む11項目を集約する中で議論を進めました。将来都市像としては、元気に上尾を作ろうとの思いから「森羅万象我がエナジー（誇り）あげお the 市民力爆発的推進都市」といったキャッチフレーズが提案されています。また、環境問題への関心を示す「環境共生都市」のほか、「市民のために（本気で）なんでもやる都市上尾」といった意見も出ました。また、基本理念についてはまず、これまでの議論を踏まえ、要素となる文言を再検討したところ、「独創／創造」「上尾ならではのまちづくり」「安心を感じられるまちづくり」「移住定住」「持続可能」「市民目線を持った行政マン」などといったフレーズが追加されました。これを受けて基本理念を検討し、最終的に「緑豊かな安心を感じられるまちづくり」「市民の目で次代を見ずれる上尾ならではの異次元のまちづくり」「市民と行政が一体となって取り組むまちづくり」といった文言が提案されました。

コンサルタント：ありがとうございました。Dグループと並び、個性的かつ爆発的な言葉をお考えいただきました。「根底にあるのは市民の力」といったお考えの下、議論いただきました。

委員：Bグループではまず、基本理念の要素を検討し、「共生（共栄）」「教育（学校・生涯）」「フラット（土地も人も）」「互いを知る」「インフラ整備」「安心安全」「持続可能（モノも人も）」「約束」「助け合う」「扶助かつ自立」「効率化」といったフレーズが提案されました。これを受け、基本理念は「人財育成」「自助・共助・公助」「安心安全な生活を約束」「国際化に対応するオープンシティ」「互いを知り共生共栄する」「効率の良い持続可能な行政運営」といった案が出されました。一方、将来都市像の要素については、「だれもがいきいき暮らせる」「みんなに（が）優しい」「いいかげん（良い意味）」「フラットシティ」「十里あげお（日本橋から）」「中途半端」「めざせ中核市」「住みたい・住み続けたい」「ウェルカム」「出会える」「開かれたまち」「安全都市」といった文言が挙げられました。これを踏まえ、将来都市像は「住みたい、住み続けたい ちょうどいいかげん あげお」「東日本の人材交流拠点都市 出会えるまち あげお」「めざせ中核市 あげお」といった提案が並びました。

コンサルタント：将来都市像や基本理念は抽象度が高く、一般的にはなかなか意見が出しにくいとも考えられますが、本日の協議では各グループとも大変特徴的なフレーズをご検討いただいております。Bグループの提案では「人も土地もフラット」との見方が印象的で、この認識が「いいかげん」「フラットシティ」など他のフレーズにも反映されていると感じました。

委員：Aグループは「安心・安全、人権」を専門にこれまで議論を重ねてきました。協議を通じて整理してきた将来都市像の要素を基にキャッチフレーズを検討し、

「共に生きる 安全安心なまち あげお」「緑と安全 活気あふれるまち あげお」  
との都市像をまとめました。他方、基本理念については、現行計画では「協働」  
自立」「共生」「独創」とされています。これらのうち、今後も重要と考える  
ものは残しつつ、「創造」「協働」「共生」「発信」「受援」の5項目としまし  
た。

コンサルタント:Aグループのご提案の根底には「個々人が尊重し合う中で世の中が成り立っている」との認識があり、これが「共に生きる」「協働」「発信」「受援」といったフレーズに結実しているのだと思います。さて、本日の協議を振り返りますと、抽象的で個性が薄くなりがちな将来都市像、基本理念の検討に際して、皆さまならではの言葉をお考えいただいたと思います。ありがとうございました。

委員長:本日も大変お疲れ様でした。素晴らしいご意見を数多くいただきました。続いて、次第の3「その他」について、事務局から説明をお願いします。

### 3. その他

《事務局から、第5回会議は9月27日(金)、第6回会議は11月1日(金)の開催を予定している旨、連絡があった。》

### 4. 閉会

委員長:そのほか、委員の皆さまからご意見はございますか。なければ、以上をもって第4回あげお未来創造市民会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

以上